

# 愛知教育大学 未来共創プラン

## 未来の教育を共に創る

『未来の教育』を考える上では、これからの未来を担う子どもたちをはじめとしたさまざまなステークホルダーの声を受けとめ、開かれた大学として共に前進していくことが不可欠であると考え、ビジョンに明記しました。

愛知教育大学は、  
子どもと共に、  
学生と共に、  
社会と共に、  
附属学校園と共に、  
未来の教育を創ります。

VISION

HPはこちら



### 3つの目標と9つの戦略

愛知教育大学のビジョンの実現に向けて、重点的に取り組む道筋を3つの目標として掲げ、目標を達成するために具体的な行動の方針として9つの戦略を立てました。

#### 目標1

子どもや学生、社会との対話や協働を通して、現代的教育課題の解決に貢献し、より質の高い教員及び教育支援専門職の養成を実現します。

**戦略1 「子どもキャンパスプロジェクト」**  
大学及びその周辺地域を「学び」と「遊び」を一体化できるエリアとして、実践フィールドと実践プログラムを提供します。

**戦略2 「教育のプラットフォーム構築プロジェクト」**  
教育リソースデータバンクを設置し、教育現場の課題解決に貢献する教育のプラットフォームを構築します。

**戦略3 「教職の魅力共創プロジェクト」**  
よりよい教育の未来につながる教職の魅力を共に創り出し、発信します。

**戦略4 「グローバル化推進プロジェクト」**  
協定校を始めとする海外の教育機関との連携を密にして、グローバル化に対応したプログラムを学部と大学院で整備します。

#### 目標2

大学と附属学校園との連携強化を図ることで、より質の高い教員研修を実現します。

**戦略5 「教育の実践的研究拠点構築プロジェクト」**  
附属学校園と教職大学院との連携を強化し、教育の実践的研究拠点を構築します。

**戦略6 「大学・附属学校園連携推進プロジェクト」**  
教育委員会や教育現場等との緊密な連携を通して、附属学校園が今後の公立学校等のモデルとなる実証研究に取り組めます。

#### 目標3

広域拠点型教員養成系大学としての意義と価値を高めます。

**戦略7 「教科横断探究プロジェクト」**  
教科等横断し、協働的に学び合う次世代型プログラムを開発するとともに、教育効果を客観的に検証する評価システムを構築し、学生の資質向上や大学の授業改善につなげます。

**戦略8 「IR部門・教職学協働プロジェクト」**  
IR部門を活用して得られた学内外の客観的なデータに基づき、戦略的な大学運営を行うとともに、教職員が協働して柔軟な組織運営を行います。

**戦略9 「大学間ネットワークの構築」**  
国公私立大学と連携協定を締結して、教職大学院を核としたネットワークを構築します。

### 戦略1 子どもキャンパスプロジェクト

主な活動内容

1. 「学び」と「遊び」が一体化したエリアへと転換する。
2. 学生・教職員・地域の協働で多様な興味関心を広げる機会を増やす。
3. 遠足や校外学習等の新たな目的地としての提案をする。
4. 大学に自生している竹を使ったアクティビティーの創出と関連した体験的な教科学習を行う。
5. 本学のリソースの再発見と有効活用、課題解決を推進する。



近隣の小学生を大学に呼んで学生と教職員が作成したプログラムを楽しんでもらう第8回「あつまれ！子どもキャンパス」を開催しました。小学生と幼児が467人、大学・附属高等学校等から434人の計901人（保護者の方を除く）が参加し、32のプログラムを楽しみました。

本学附属名古屋小学校の2年生87人が遠足で本学を訪れました。体験プログラムの「学長室見学と学長先生のわくわく工作」では学長室見学と紙コップのロケットを高く飛ばす工作を行い、「図書館見学」では普段入ることのできない大学の図書館をめぐる、「馬とのふれあい体験」ではエサやり体験や馬とのふれあいをして、遠足を満喫しました。



2003年に本学の学生や教員が立ち上げて造形領域の教育や研究の活動を続けている研究会「ものづくり教育会議」が、「ことごとキャラバン2025 in刈谷」を開催しました。5つのワークショップを実施し、延べ500人もの子どもたちにいるようなものづくりを体験してもらうことができました。

### 戦略3 教職の魅力共創プロジェクト

主な活動内容

1. 「教職の魅力共創シンポジウム」を通して、多様な立場の方々との意見交換を行う。
2. 教職の魅力を伝えるリーフレットや動画コンテンツを作成する。
3. 多様な立場の方々から原稿を募集し、シリーズ叢書『教職の魅力共創』を刊行することで、地域社会と共によりよい教育の未来につながる教職の魅力を共創する。

一般社団法人国立大学協会との共催により、令和7年度愛知教育大学未来共創シンポジウム「第2回こどもまんなかシンポジウム—教職と教育支援職の魅力再発見！—」を開催しました。

本シンポジウムは、東海・信州地域で学び、働き、幸せになる未来型社会の実現に向けて、子どもたちと共に学び、成長する教員と教育支援職の魅力を再発見することをテーマに掲げ、「東海・信州 国立大学連携プラットフォーム（C2—FRONTS）人口激減期における持続可能な教員養成タスクフォース参加大学」である信州大学と静岡大学をはじめ、本学と教員養成の高度化に関する連携協定を締結している椋山学園大学、愛知東邦大学、愛知淑徳大学、愛知大学、岡崎女子大学（2026年4月岡崎大学に名称変更）、中京大学、東海学園大学、岐阜協立大学、金城学院大学と共同で開催しました。シンポジウムには、小・中・高等学校の児童・生徒、本学の学生・院生および本学と教員養成の高度化に関する連携協定を締結している共催大学の学生、教職員、保護者など約220人が参加しました。

第1部では、教職や教育支援職の魅力について3名の講師が基調提案を行い、その後グループディスカッションで話題とするキーワードや問いを創出しました。ランチミーティングでは、小・中・高・大学生が混在するグループをつくり、基調提案の感想を伝え合い、キーワードや問いを基に教職や教育支援職の仕事の在り方について語り合いました。

午後からの第2部では、大学生が中心となって企画したワークショップにグループで参加し、すごろく遊びなどを通じて、教職や教育支援職の役割を考え、自分の思いや考えを語り、他者の思いや考えを受容することで、仲間の良さを体感する時間となりました。最後に、未来の教育をこどもと社会全体で共創するために、教育大学や教育学部・教職課程を置く大学が果たすべき役割について2名の学外講師が総括し、閉会しました。教職と教育支援職の魅力やよりよい未来の教育について深く考えることができるシンポジウムとなりました。



### その他プロジェクト

### 戦略4 グローバル化推進プロジェクト

主な活動内容

1. 海外協定校に赴き、研究者等の招待・派遣制度の整備について検討するとともに、海外の教育現場を視察することで教職員の国際理解研修を行う。
2. 教職大学院に入学した教育委員会派遣、附属学校教員が海外研修できる制度を構築することを検討する。

### 戦略5 教育の実践的研究拠点構築プロジェクト

主な活動内容

附属学校園と教職大学院の教員が連携を強化して、共同で院生指導や実践研究を行い、研究論文の執筆や学会報告を行うことで、教育の実践的研究拠点を構築する。

### 戦略6 大学・附属学校園連携推進プロジェクト

主な活動内容

1. 附属学校園に所属する研究主任クラスの教員と大学教員により構成されたプロジェクト・チームが主体となり、毎月1回、リモートで協議会を開催する。
2. 附属学校園同士の交流や大学との共同研究によってモデル授業を開発し、研究会・研修会で還元する。

### 戦略7 教科横断探究プロジェクト

主な活動内容

「遠隔・オンライン教育」、「ICTを活用した、効果的な学習支援」、「探究的な学習を通じて協働的に学び合う教科等横断学習」について、調査研究を行い、次世代型教科等横断プログラムを開発する。

これからの活動にも期待してニャン♪

